令和２年９月１日　No.186

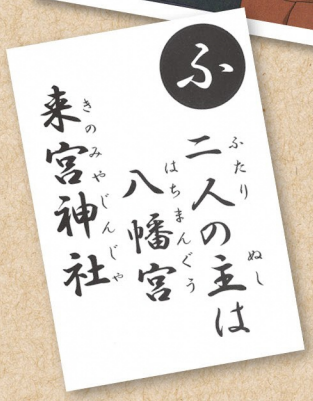
大室山　小室山

市議会だより

表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

「伊東かるた」とめぐる

“伊東の魅力”再発見



※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

八幡宮来宮神社

八幡宮来宮神社には名前が示すように八幡宮と来宮神社とが祀られ、お祭りにも二つの神輿が出ます。本殿は二間社流造の建築様式をとっており、向かって右に八幡宮、左に来宮をお祀りしています。社叢は「国指定天然記念物」です。

～伊東かるた解説書より～

主な内容

○４月、５月臨時会の概要 …… 【P.２】
○６月定例会の概要 …… 【P.４】
○一般質問（７議員が登壇）…… 【P.６】
○常任委員会だより …… 【P. 11】
○新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 …… 【P.3、12】

議会に関する情報は、市議会ホームページもあわせてごらんください。　伊東市議会

令和２年４月28日臨時会

審議した議案等

議案番号	件　　名	概　　要	提出者	審議結果
市認第1号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正について、令和２年３月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第2号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正について、令和２年３月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第3号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴う条例改正について、令和２年３月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市議第1号 討論	令和２年度伊東市一般会計補正予算（第2号）	新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策及び市内緊急経済対策に関する経費の追加	市長	全会一致で可決

※「専決処分」についての解説は５ページをごらんください。

令和２年５月15日臨時会

審議した議案等

議案番号	件　　名	概　　要	提出者	審議結果
市認第4号	令和２年度伊東市一般会計補正予算（第３号）専決処分の報告承認について	国の新型コロナウイルス感染症緊急対策に関連した特別定額給付金事業などに係る一般会計補正予算69億5,862万2,000円の増額について、令和２年５月１日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市議第2号 討論	伊東市特別職の職員の給与の特例に関する条例	新型コロナウイルス感染症による市内経済への影響や、本市の財政状況を考慮し、特別職（市長、副市長及び教育長）の給与の減額の特例に関する条例を制定	市長	全会一致で可決
市議第3号	令和２年度伊東市一般会計補正予算（第４号）	特別職の職員の給与の特例に関する条例の施行に伴う特別職の給料及び手当の減額と、一般会計補正予算(第２号)に続く市内緊急経済対策を計上し、２億9,000万円の増額	市長	全会一致で可決
発議第1号	新型コロナウイルス感染症対策特別委員会設置について	新型コロナウイルス感染の拡大による市民生活及び地域経済への影響及び対策に関する調査を目的とした特別委員会の設置	議員10名※	全会一致で可決

※各会派代表者及び会派に所属していない議員全員

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の設置について

今年一月、我が国で最初の新型コロナウイルスの感染者が確認されて以降、感染は瞬く間に全国的に広まり、四月には政府が緊急事態宣言を発出するなど、未曽有の事態が市民生活に影を落とすこととなりました。

新型コロナウイルスの感染拡大が、市民生活及び市内経済に与えた影響は計り知れないほど大きく、社会経済活動の本格的な回復の目途も立たない状況に鑑み、本市議会では、五月一五日臨時会において全議員共同での議案提出により、新型コロナウイルス感染の拡大による市民生活及び地域経済への影響及び対策に関する調査を目的として、特別委員会を設置しました。

※活動の経過及び六月定例会における中間報告につきましては、一二ページをごらんください。

●委員会の名称
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

●付議事項
一　感染症対策等に関する情報の収集及び提供に関すること
二　感染症対策等の円滑かつ効果的な実施に資するための市当局等への要請及び提言に関すること
三　その他感染症対策等に関し、委員会が特に必要と認めること

●委員定数　七名

●委員構成

委員長	井戸清司議員
副委員長	鳥居康子議員
委員	佐藤　周議員
〃	杉本一彦議員
〃	佐藤龍彦議員
〃	鈴木絢子議員
〃	浅田良弘議員

会派構成は10ページをごらんください

臨時会本会議で行われた討論（要旨）

市議第一号
《賛成》石島茂雄議員

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している現在、先が見えないという不安を払拭し、住民同士のトラブルを回避するためには市長の強烈なリーダーシップが必要である。今こそ、こういう伊東のまちに住みたいと思われるまちづくりを推進していかれることを期待して、賛成する。

市議第二号
《賛成》清和会

厳しい立場にある市民と思いを共有するために特別職の給与を減額する特例条例である。特別職に市民の痛みを追体験してもらうことと自体に意味はないと言えるが、救済が必要な市民に適切な施策を提示し速やかに執行する行政の責任という特別職の意志が、質疑を通じ確認できたことをもって本条例案に賛成する。

ことばの解説

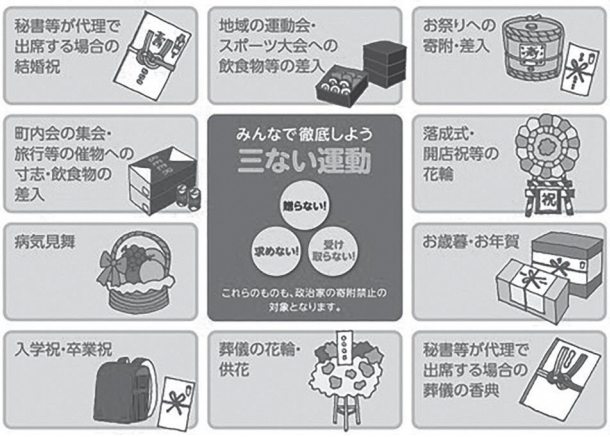
常任委員会
議会から付託された議案の、より詳細な審査及び所管事務調査等を行うため設置するものです。
伊東市では条例により、総務、観光建設、福祉文教の三つの常任委員会が設置されており、議員は三委員会のいずれかに所属しています。

特別委員会
常任委員会は常設の組織ですが、それに対して特別委員会は、特定の事柄について、専門的な調査や審査を行う必要があるときに、議会の議決により臨時的に設置されるものです。

寄附行為やあいさつ状の禁止について

市内において、議員が次の行為を行うことは公職選挙法で禁止されています。
ご理解とご協力をお願いいたします。

■答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等、時候のあいさつ状を出すこと
■有料のあいさつ広告を出すこと
■政党、その他の政治団体や親族に対するものを除き、寄附をすること
※寄附には、お歳暮やお年賀なども含まれます。



令和２年６月定例会

35件の議案等を審議、決定

６月定例会を６月15日から６月26日までの12日間の会期で開会しました

議案番号	件　　名	概　　要	提出者	審議結果
市報第1号	令和元年度伊東市一般会計予算繰越明許費繰越し報告について	令和2年3月定例会において議決された繰越明許費のうち、一般市道整備事業など、14事業、5億5,747万5,000円を令和元年度から令和2年度に繰り越したことの報告	市長	質疑のみで採決なし
市報第2号	令和元年度伊東市水道事業会計予算繰越し報告について	地方公営企業法の規定による建設改良費の繰り越しで、池地区配水管布設工事など、3事業、3,496万3,000円を令和元年度から令和2年度に繰り越したことの報告	市長	質疑のみで採決なし
市議第4号	伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正で、個人市民税において、ひとり親控除創設等に係る規定の整備等を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第5号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正で、浸水被害軽減地区の指定を受けた土地に係る課税標準の特例(わがまち特例)が新設されたことによるもの	市長	全会一致で可決
市議第6号	伊東市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	放課後児童健全育成事業の設備及び設置に関する基準の一部を改正する省令が施行され、放課後児童支援員が修了すべき研修の施行者に中核市の長が追加されたことに伴う改正	市長	全会一致で可決
市議第7号	伊東市介護保険条例の一部を改正する条例	令和2年度からの消費税率10%の通年実施に伴い、保険料軽減を完全実施するため、介護保険料第1段階から第3段階に相当する第1号被保険者の保険料について定めるもの	市長	全会一致で可決
市議第8号	伊東市子育て支援医療費助成条例の一部を改正する条例	子育て支援医療費助成における2歳から18歳までの通院に係る1回500円、月4回までの自己負担を廃止し、完全無償化とするもの	市長	全会一致で可決
市議第9号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、低未利用土地等の譲渡に対する長期譲渡所得の特別控除が創設されたことから、国民健康保険税の算定及び軽減判定に用いる総所得額に反映するよう、所要の改正を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第10号	伊東市新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給に関する条例	新型コロナウイルス感染症に感染した国民健康保険被保険者に、傷病手当金を支給するための条例制定	市長	全会一致で可決
市議第11号	伊東市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金の支給について、静岡県後期高齢者医療広域連合の条例が改正されたことに伴い、申請書の受付事務を本市において行うための改正	市長	全会一致で可決
市議第12号	伊東市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	外来医療の機能分化の推進を図ることを目的に、保険医療機関及び保険医療養担当規則等が改正されたことにより、特定初診料について現行の3,000円から5,000円に改定し、特定再診料について新たに2,500円を設定するもの	市長	全会一致で可決

議案番号	件　　名	概　　要	提出者	審議結果
市議第13号	伊東市立学校設置条例の一部を改正する条例	川奈小学校と南小学校の統合に関し、統合後の校名を「南小学校」とすることに伴う改正	市長	全会一致で可決
市議第14号	伊東市学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例	現在、単独調理場として運営している門野中学校を、令和２年度２学期から池小学校との共同調理場とすること等に伴う改正	市長	全会一致で可決
市議第15号	伊東市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令の施行に伴う改正で、非常勤消防団員に事故が発生した場合の補償基礎額を改めるとともに、用語の整理を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第16号	伊東市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて	本市においては認定農業者の数が少なく、農業委員会委員の任命に困難を生じるため、認定農業者等またはこれらに準ずる者の割合を４分の１以上とすることについて議会の同意を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第17号 討論	令和2年度伊東市一般会計補正予算(第5号)	新型コロナウイルス感染症の影響により中止や縮小となった事業の整理に伴う減額をはじめ、子育て支援医療費助成事業における医療費自己負担の完全無償化の実施、市内経済活性化策として市内宿泊助成事業及びプレミアム付商品券事業などを実施するための経費の計上	市長	全会一致で可決
市議第18号	令和2年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に係る傷病手当金と、それに伴う県補助金の計上	市長	全会一致で可決
市議第19号	令和2年度伊東市一般会計補正予算(第6号)	新型コロナウイルス感染拡大に対応するための国の補正予算の成立に伴い、ひとり親世帯臨時特例給付金給付に係る経費と、児童福祉施設や小・中学校等を対象とした感染拡大防止対策経費を計上し、さらに、第５号補正に計上した市内宿泊助成事業へ増額を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第20号 ～ 市議第21号	伊東市功労者表彰について	故土屋進氏（渚町）、鈴木克政氏（和田）	市長	全会一致で可決
市選第1号 ～ 市選第14号	農業委員会委員任命の同意について	任期満了（令和２年７月19日）に伴う後任者14人の任命の同意を求めるもの 青木公江氏（玖須美元和田）　伊代野裕二氏（吉田） 太田宏氏（八幡野）　長田直己氏（赤沢） 黒岩秀雄氏（玖須美元和田）　杉本肇氏（宇佐美） 竹安秀人氏（富戸）　土屋光枝氏（荻） 中村隆史氏（鎌田）　日吉義茂氏（富戸） 堀井裕三氏（湯田町）　増井一樹氏（玖須美元和田） 佐藤周氏（八幡野）　杉本憲也氏（宇佐美）	市長	全会一致で任命に同意
発選第1号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	有効投票20票のうち、土屋秀明氏0票、佐山正氏18票 渋谷英彦氏0票、高木理文氏2票	―	―

本会議で行われた討論の概要（要旨）

市議第一七号
《賛成》自民・伊東新時代。

新型コロナウイルス感染症は市民生活に大きな影響を及ぼしており、市の財政が厳しくなる事が予想される中、今年度計画していた様々な事業が延期になる事は理解する。しかし、市民運動場人工芝生化事業等については、本市の将来を考えていく上でも重要な事業であり、来年度速やかに進める事を期待し、賛成する。

会派構成は10ページをごらんください

ことばの解説

専決処分

行政の停滞を防ぐための例外的な規定として法律で定められているもので、議会を招集するいとまがないときや、議会が成立しないとき、議会にかわって市長が案件を処分することをいいます。ただし、市長が専決処分した場合には、処分後初めて開かれる会議（臨時会を含む）に報告し、承認を得なければなりません。

一般質問

7議員が登壇し市政全般について質問しました　（登壇順に掲載）

町内会、自治会の加入世帯数を伺う

佐藤（さとう）周（しゅう）議員
（正風クラブ）

町内会、自治会の活動は、本市の底辺を支え、安心して暮らすためのまちづくりに寄与しているものの、加入世帯が減少している現状がある。組織維持を図る観点から、地域の課題解決に協力関係が必要な町内会、自治会の加入世帯数を伺う。

市長　**加入世帯数二万二九二世帯、加入率五七・三％である**

価値観の多様化、ライフスタイルの変化などにより、加入世帯数は年々減少し、四月一日現在、本市三万五三九〇世帯のうち、加入は二万二九二世帯で、加入率は五七・三％となっている。

本市では、より加入しやすい環境づくりのポイントをまとめた「加入促進マニュアル」を作成したところであり、今後も、地域行政連絡調整協議会と連携し、町内会・自治会への加入促進に努めていく。

国の掲げる「GIGAスクール構想」の実現に向けた取組について伺う

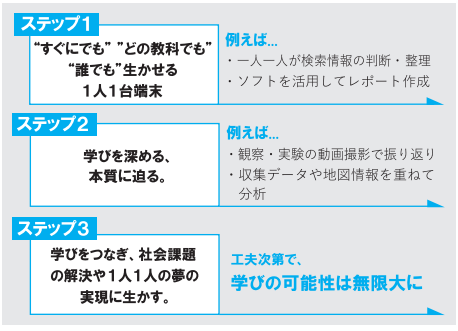
市内小・中学校における校内通信ネットワーク設備の整備状況を伺うとともに、児童・生徒への一人一台端末の整備予定について伺う。

市長　**校内通信ネットワーク設備は本年度の整備完了を予定**

一人一台端末の整備を考慮し、児童・生徒が一斉にネットワーク接続しても支障のない高速通信環境を構築するネットワーク構成を検討しているところであり、本年度中には設備の整備を完了する予定である。

一人一台の端末については、国庫補助の前倒しに伴い、子供たちのICTを活用した授業の早期実現のため、本年度中の整備を検討していく。

『その他の質問』　四項目



「1人1台端末」を生かした学びのイメージ

臨時会、定例会における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

マスク着用、消毒液の設置とともに、議場、委員会室の全ての出入り口と窓、廊下の窓を開放して換気を促し会議に臨みました。

マスク未着用とした演壇にはアクリル板を設置した上で、発言後は、その都度アルコールによる演壇の消毒を実施しました。

※一般質問の議員写真に、アクリル板が写っています。ご了承ください。

本会議録画映像をインターネットで視聴できます！

伊東市議会では、本会議の録画映像をインターネットで配信しております。

会議の翌日から起算して、おおむね一週間後からご視聴いただけます。

■アクセス
伊東市ホームページ
←
市政の情報
←
市政情報
←
伊東市議会
←
市議会インターネット中継放送

※表紙のQRコードを読み取ると、伊東市議会トップページをごらんいただけます。

※この録画映像は伊東市議会の公式記録ではありません。各会議の公式な記録は、後日調製される会議録をごらんください。

農地における水源確保の状況及び今後の農業用水利整備について伺う

杉本憲也（すぎもとかずや）議員
（清和会）

本市では、柑橘類よりも栽培に多くの水を必要とする野菜類の作付面積や生産量が増加傾向にあり、今後、農地への水の整備がより重要になる。水源確保の状況及び今後の農業用水利整備計画について伺う。

市長

地域農業者の声を聞きながら、支援策を検討する

地域農業者が自ら水利施設を設置している一部地域を除き、多くの地域で農業用水利施設は整備されておらず、農業者自らが雨水タンクを設置したり、川の水を汲み上げて利用している状況は承知している。

近年は多くの水を必要とする野菜類の生産が増え、農地における水の需要は高まっているため、地域農業者の声を聞きながら、農業用水利施設の整備支援策を検討していく。

本市の農業の特徴を生かした販路確保に関し、地産地消に向けた取組を伺う

少量多品目生産という特徴のある本市の農業の活性化には、まず市内での収益性向上が不可欠である。販路確保に関し、地産地消へ向けた取組について伺う。

市長

学校給食への、地元農産物の使用を促進している

地産地消については、教育委員会との連携を図る中で、学校給食への地元農産物の使用を促進している。

また、あいら伊豆農協が運営する直売所は、多くの市民や観光客が利用し、地元農産物の消費拡大や農業者の販路拡大に大きな役割を担っていると考えており、農協や地元の農業者団体の意見、要望を取り入れながら、直売所の利活用に対する支援に努めていきたい。

『その他の質問』一九項目

ブランド化を進めているアイランドルビー

新型コロナウイルスの市内感染者が確認された際の放課後児童クラブとの連携について伺う

佐藤龍彦（さとうたつひこ）議員
（日本共産党）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として、小学校については臨時休業の措置が講じられた。しかし、その一方で、子供を抱える就業者を支えるため、放課後児童クラブについては開所せざるを得ない状況となった。

そのような中、市内において、新型コロナウイルスの感染者が確認された際の放課後児童クラブの閉所、開所等の対応は利用者にとって急なものであったと感じたが、放課後児童クラブと、どのように連携したのか、また、今後の対応をどのように検討しているのかを伺う。

市長

放課後児童クラブ支援員と相互に連携を図り、利用者に対し迅速な対応をした

市内において新型コロナウイルスの感染者が確認された場合は、本市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議で決定された方針に従い、放課後児童クラブを一時的に閉所することを、令和二年四月一六日付で利用者にあらかじめ通知しており、五月二一日に市内初の感染者が実際に確認された際には通知のとおりに閉所とすべく、放課後児童クラブ支援員を通じて早急に利用者へ連絡したところである。

さらに、開所に当たっては、小学校の分散登校を確認した上で、速やかに開所することを判断し、閉所時と同様、放課後児童クラブ支援員を通じて、利用者に対し、早急に連絡したところである。

今後は、今回の事例についてアンケートを実施し、その結果を真摯に受け止めながら、これからの対応について協議するとともに、新たなガイドラインの方向性について検討していく。

『その他の質問』四項目

放課後児童クラブで過ごす時間

しのみやかずひこ
四宮和彦議員
（清和会）

佃前市長の退職金返還請求について、行政手続の進捗状況を伺う

佃前市長の退職金返還請求については、昨年の一二月定例会の一般質問で取り上げ、この時の答弁では、収監先を確認次第、伊東市行政手続条例の規定に基づき、速やかに聴聞通知書を発送し、聴聞手続終了後、令和二年の六月までには返納命令の通知が完了するであろうとのことであった。改めて、現在の行政手続の進捗状況について伺う。

市長

令和二年六月九日に聴聞を開催した。今後は速やかに退職手当の返納を命じる処分を決定し、返納を求めていく

佃前市長の退職金返還請求に係る行政手続の現在の進捗状況については、本年一月二八日付で佃前市長に対し、四月二四日に聴聞を開催する通知書を送付し、準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大から、聴聞の期日を延期し、六月九日に改めて開催した。

当日は、本市職員をもって、佃前市長の代理人である弁護士及び参加人に対し、予定される不利益処分の内容及び根拠となる条例の条項並びにその原因となる事実を説明し、その後、代理人である弁護士等から意見が述べられた。

今後については、聴聞の審理の経過を記載した調書等を十分に参酌する中で、速やかに退職手当の返納を命じる処分を決定し、佃前市長に対し返納命令書を送付し、返納を求めていく。

聴聞（ちょうもん）とは？

行政機関がその権限の行使に先立ち、行政手続の民主化、関係人の権利保護などのため、相手側や利害関係人などの意見を聴く手続。

『その他の質問』　二項目

しげおかひでこ
重岡秀子議員
（日本共産党）

市税等の納税相談の現状及び周知について伺う

コロナ禍（か）における経済状況については、市独自及び国、県の支援策によっても到底救い切れない状況であることから、市民生活における固定費である税金に関する納税相談は非常に重要な意味を持つと考えられる。

既に、国においては、納税猶予等の措置を講じているところであるが、本市における市税等の納税相談について、件数及びその対応状況について伺う。

また、納税通知書等の各種通知に納税相談の案内を同封するなど、市民に対し、より一層の周知を図る方策を検討すべきと考えるが、いかがか。

市長

新型コロナウイルス感染症に関連した相談は、四月一日から五月三一日までに四六三件であった

納税相談については、収納課において、相談窓口を常設しており、様々な納税相談に応じているが、昨今の特徴としては、新型コロナウイルス感染症に関連した相談が増加しているところである。

新型コロナウイルス関連の納税相談の件数については、四月一日から五月三一日までの集計で、四六三件の相談があり、うち市内の方が三五七件、市外の方が一〇六件である。

また、過去に滞納がない方からの相談は、三〇一件、滞納がある方からの相談は一六二件となっており、それらのうち二四一件について納税の猶予を適用した。

納税相談の周知については、市のホームページのほか、国民健康保険税の納税通知書にリーフレットを同封し、その中で納税相談について案内している。

『その他の質問』　六項目

新型コロナウイルス関連の納税相談が増加

河川占用不許可処分取消請求事件について、今後の方針を伺う

田久保眞紀（たくぼまき）議員
（会派に所属していない）

八幡野地区で計画されている大規模太陽光発電所建設計画において、工事に係る河川占用許可申請を本市が不許可とした件に対し、事業者が処分の取消しを求めていた裁判で、静岡地方裁判所は五月二二日、本市に対して処分の取消しを命じる判決を下した。

判決結果を受け、今後の方針を伺う。

市長　控訴を申し立てていく

控訴申し立てについては、引き続き、複数の弁護士の意見も伺いながら、不許可処分が正当な判断であることを主張していく。

移住定住に関し今後の見解を伺う

外出や移動の自粛に伴って新しい生活様式が広がり、在宅勤務がにわかに注目を集めた。在宅や遠隔による勤務体制の推進は、自然豊かで都心に近い本市が移住定住施策を進める好機であり、積極的に取り組むべきと考え、見解を伺う。

市長　移住定住を改めて推進する機会であると考えている

移住定住については、伊東市移住定住促進プランを整備して進めており、これまで首都圏で開催される移住相談会や、移住定住促進現地ナビゲート事業などで移住希望の方とじかに接触する一方で、企業誘致へも力を入れてきた。

今回の自粛生活により、地方への移住を検討したり、ワークライフバランスを再考する方が増えていると思われ、移住定住施策を改めて推進する機会と捉えている。移住のホームページを開設し情報発信に努めるほか、オンライン等を使った新しい生活様式を取り入れ、新たな価値や可能性を見いだし発信していきたい。

移住のホームページを開設していく
（写真は伊東市移住プロモーションビデオより）

歴史的緊急事態に際し、観光業をはじめとする市内経済回復対策について伺う

浅田良弘（あさだよしひろ）議員
（会派に所属していない）

新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、観光関連事業の落ち込みはこれまでに経験したことのない事態となっており、市内事業者の中には、経営そのものに対して不安を感じている方も少なくない。

このような状況下では、市内経済の回復に向け、これまでに例のない規模の経済対策が必要になると考える。ファミリー層や特定の年齢層にターゲットを絞ったＰＲや優待による誘客施策、また、市街地への誘客につなげることを目的とした、伊東駅利用客への助成に関し本市の考えを伺う。

市長　効果的な施策を迅速かつ柔軟に実施していく

大きな打撃を受けている市内経済を一刻も早く回復させるためには、これまでにない規模の経済対策や誘客施策が必要であると考えている。

ターゲットを絞った施策については、大手インターネットショッピングサイトを活用した消費対策キャンペーンや、大型連休の宿泊をキャンセルしたお客様に対して、自粛への謝意と来訪をお待ちしている旨の手紙をお送りし、本市の名産品をプレゼントする事業、県民の方に向けた宿泊キャンペーンなど、機を逃さず、迅速かつ柔軟に進めているところであり、今後も、ターゲットを絞ったより効果的な施策について検討を続けていく。

また、移動の自粛が緩和され人の交流が増えることを見据える中で、宿泊と鉄道の利用をパックにした旅行商品に付加価値をつけるなど、伊東駅を利用する来遊客の消費喚起につながる施策についても検討していく。

『その他の質問』　七項目

Go! ITO! 静岡県民宿泊キャンペーン

市議会内の会派構成

掲載は会派代表者を先頭に、以下議席順

R2.8.1現在

正風クラブ

みやざき まさしげ
宮崎 雅薫(代表)

さ やま ただし
佐山　正

さとう しゅう
佐藤　周

あお き よしひろ
青木 敬博

公明党

ながさわ まさし
長沢　正(代表)

とりい やすこ
鳥居 康子

しのはら みねこ
篠原 峰子

清和会

いど きよし
井戸 清司(代表)

しのみや かずひこ
四宮 和彦

すぎもと かずや
杉本 憲也

自民・伊東新時代。

すぎもと かずひこ
杉本 一彦(代表)

おおかわ かつひろ
大川 勝弘

なかじま ひろみち
中島 弘道

日本共産党

しげおか ひでこ
重岡 秀子(代表)

さとう たつひこ
佐藤 龍彦

会派に所属していない議員

たくぼ まき
田久保 眞紀

なかだ よしまさ
仲田 佳正

すずき あやこ
鈴木 絢子

あさだ よしひろ
浅田 良弘

いしじま しげお
石島 茂雄

閉会中の議会活動

令和２年３月定例会閉会から
令和２年６月定例会開会まで

4月　6日　議会活動活性化協議会
4月　9日　常任福祉文教委員会協議会
4月20日　議会報編集委員会
4月21日　常任観光建設委員会協議会
4月22日　議会運営委員会
4月24日　常任総務委員会協議会
4月28日　常任福祉文教委員会協議会
5月12日　議会運営委員会
5月20日　新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
5月27日　新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
6月　9日　議会運営委員会

全国市議会議長会議員表彰

全国市議会議長会より、永年勤続の表彰を受けた議員に対し、六月定例会においてその伝達を行いました。

一五年以上勤続
浅田　良弘議員

9月定例会の予定

8月31日(月)開会

※日程等は、８月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、８月下旬発行予定の６月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください

総務委員会

問 税賦課徴収条例の改正に伴うひとり親に対する税制上の措置について伺う。

答 全てのひとり親家庭に対し、公平な税制支援をする観点から、婚姻歴の有無や性別にかかわらず、一定の所得以下のひとり親については、同一の「ひとり親控除」を適用する。

ひとり親に対する公平な支援を実施
改正前 → 改正後

控除の対象	離婚・死別	○	○	婚姻歴の有無による差を解消
	未婚	×	○	
所得制限	男性	500万円以下	500万円以下	性別による差を解消
	女性	なし	500万円以下	

問 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給に関する条例について、概要を伺う。

答 給与等の支払いを受けている本市の国民健康保険の被保険者のうち、新型コロナウイルス感染症の感染者または発熱等の症状があり感染症の感染が疑われ、その療養のために労務に服することができない者が対象となり、規定に基づく支給対象となる日について、一定の計算式のもと、傷病手当金を支給するものである。

観光建設委員会

問 プレミアム付商品券事業について伺う。

答 市内経済の活性化策として、プレミアム付商品券を発行し、市内における消費拡大を図るものである。

平成27年度に実施したジオパーク応援夢クーポンでは、地元商店街と大型店とで利用できる枚数を分け、１冊5,000円に20％を上乗せし6,000円分使用できる商品券を７万冊完売した実績がある。

今回は、市内の多くの事業者を応援することを目的に、対象を市外資本の大型小売店舗を除く市内店舗に限定した。業種は絞らずに登録店舗を募り、幅広い業種への効果を期待している。１冊5,000円で6,000円分使用できる商品券を10万冊発行する予定であり、市内在住者あるいは在勤者の方１人につき10冊まで購入できる。

利用状況によっては、さらに積極的な事業展開も検討していきたい。

市内経済の活性化を期待

福祉文教委員会

問 子ども医療費の完全無償化に伴う、新たな受給者証の交付方法について伺う。

答 無償化の実施日が10月１日であり、現在の受給者証の更新と重なることから、新しい受給者証を交付することで対応する。また、子育て世帯への経済的な負担軽減策として、令和２年４月から９月までにかかった医療費については、遡って還付ができる制度を設ける。

令和２年度から子ども医療費を実質無償化

問 門野中学校で実施される給食の池小学校との親子方式に関し、現在、池小学校で行われている給食の地産地消の取組は、引き続き、共同調理場でも取り入れられるか伺う。

答 調理する給食数が増えることから、農家などと協議する必要はあるものの、これまで池小学校が独自に行ってきた地産地消の取組については、地域の食文化を守る観点からも、今後も継続して取り組んでいきたい。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

1 令和二年五月二〇日 ～委員会開催～

まず、本特別委員会の運営方針及び今後のスケジュールについて協議をし、当面の間は、感染症対策等について当局に対する政策提言を作成することとして、本特別委員会の活動方針が諮られ、異議なく了承されました。これにより、今後のスケジュールとして、六月初週を目途に市長に対し提言をしていくことが確認されました。

次に、政策提言の具体的な協議に入ることとし、当局から提出された資料を参考に、提言事項を取りまとめることとしました。委員からは、様々な見地から多岐にわたる内容の提案があり、その趣旨等について説明がされました。また、提言とは別に、早急に要望をする事項として、給付金等の申請における窓口業務の体制づくりについて、本特別委員会閉会後に議長から申し入れることとしました。

次回の本特別委員会においては、提言事項案の一覧を示し、これを集約することで、政策提言の内容を決定することとしました。

2 令和二年五月二七日 ～委員会開催～

まず、前回の委員会閉会後の申入れについて議長から報告があり、当局から、必要に応じて、派遣等を検討する旨の回答を得たとの報告がされました。

提言内容の協議については、委員長において、企画・危機管理、財政、観光経済、教育、医療福祉、その他として、提言事項案を分野ごとに区分した集約案を提示した上で、これに対する意見を求め、協議を進めました。提言は、感染症対策のみならず、ウィズコロナ、アフターコロナにおける経済対策なども視野に入れて作成することとして、委員の認識を共有しました。

全ての案の趣旨を確認し、一つ一つ内容の精査及び集約をすることで、六分野三二項目の提言内容を決定しました。また、提言書の体裁については、正副委員長に一任の上、作成後に委員に提示することとしました。

なお、提言については、議会を代表し、議長から市長に対して提言書を提出することとしました。

次に、その他の協議事項として提案された行政視察旅費及び個人調査活動費の削減について協議をしました。議員一人当たりの旅費合計額二〇万円のうち、一五万円を削減することについて提案がされ、合意が得られたことから、議長に対し本特別委員会の協議結果を報告することとしました。

次回の開催については、今後の本特別委員会の運営方針を確認する中、六月定例会終了後に改めて日程調整を図ることとしました。

3 令和二年六月三日 ～市長への提言～

市長に対し、本特別委員会の結果として取りまとめた提言書を提出しました。

4 令和二年六月一五日 ～中間報告～

令和二年六月定例会初日において、当局、市民との情報共有を目的として、登壇の上、本特別委員会の中間報告をし、異議なく了承されました。

※議員の旅費については、一人当たり一五万円を削減することに決定し、九月定例会の補正予算に計上していくこととなりました。

※「提言書」等につきましては、市議会ホームページをごらんください。

編集後記

新型コロナウイルスによって生活変容を求められました。本市も按針祭をやむなく中止し、花火の上がらない寂しい夏となりましたが、下を向いたままではいられません。三密を回避した新しい手法に挑戦し、試行錯誤の日々を送られている各分野の皆様には、心より感謝いたします。そのような中でも、オンライン、テレワークといった移住施策推進のキーワードを見つけられたことは収穫です。

臨時会やコロナ対策特別委員会を経て、新人六人を含む第一九期議員も、間もなく一年がたとうとしています。（佐藤周）

議会報編集委員会

委員長　佐藤　龍彦
副委員長　杉本　憲也
委員　佐藤　周
〃　篠原　峰子
〃　大川　勝弘

市議会に関するご意見ご質問は議会事務局へ

いとう市議会だより　2020.9.1　No.186
「いとう市議会だより」は再生紙を使用しています
【発行】伊東市議会　【議長】佐山　正
【編集】議会報編集委員会
【伊東市議会事務局】伊東市大原二丁目1番1号

■TEL／0557-32-1981　■FAX／0557-38-6916
■E-mail／gikai@city.ito.shizuoka.jp
■ホームページ／https://www.city.ito.shizuoka.jp

UD FONT